

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



イベント報告 -ウッドランドクラブ5月-

～山野草観察と石窯でピザを焼いてみよう!!～

5月のウッドランドクラブは、「山野草観察と石窯でピザを焼いてみよう」というイベントです。申込み定員をオーバーする人気のイベントです。

新緑が美しい5月の「こもれびの道」を散策して、山野草を観察しました。もちろん「山菜」もたくさん見つけることができました。春が終わり、初夏に向かうこの時期の山野草と「こもれびの森」の手つかずの自然を満喫されたようです。



＜「こもれびの道」を出発＞

科学館に戻ってからは、講師から山野草の説明や、山菜の調理法などについてお話がありました。山菜を当てるクイズは、参加者の皆様の間で大盛り上がりでした。お目当ての山菜を発見できて満足ようです。



＜山菜のクイズ＞



＜焼きました～＞

最後は定番の焼き立てピザの試食です。文句なしの焼き上がりに歓声が上がりました。来年のご参加もお待ちしております。

こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで
専属ことりカメラマン(?)
の大友さんのコーナーです

“いろいろな小鳥”

- ①キセキレイが東屋の古巣をリニューアルして子育てをしました。
- ②カワセミが草木川の岸で子育て中ようです。湿性植物園でエサ取りです。写真は下のくちばしが赤いメスです。
- ③ヌマエビをくわえたカワセミです。
- ④夏鳥のノジコです。Hさんが見つ付けてくれました。(大友)

①巣立ちまちか



②カワセミ・メス



④ノジコ



③ヌマエビをくわえたメス

生き物いろいろ



～身近にいる小さな虫たち～

“小さな木の中で”

今年も館内の池の脇のヤマハンノキにモリアオガエルの卵が産みつけられた。今年も4つほどの卵塊が池に張り出した枝にぶら下がっている。

木の隅々に目を凝らしてみるとメスを待ち構えているオス、逆にオスを待っている？メス、包接しているカップル等々、十数匹が見え隠れしている。

池をのぞくと落ちてくるオタマジャクシを狙う数匹のイモリがうごめいている。初夏、わずか3mばかりのヤマハンノキの中に自然界で懸命に命を繋ごうとする攻防が見えた。(は)



①産卵を終えて



②待ち構えるオス



③包接中

まめちしきコーナー “花や木などのチョットした知識”

～お寺と野草 ホウチャクソウ(イヌサフラン科)・キケマン(ケシ科)～

日本への仏教伝来は6世紀中頃のことですが、仏閣や仏具にかかわりを持つ植物の名前は数多くあります。例えば「宝鐸草(ホウチャクソウ)」の「宝鐸」とは、お寺や五重塔の軒先の四隅に吊り下げられた飾り物のことで、青銅製で風に揺れると音が出ます。「九輪草(クリンソウ)」の「九輪」とは、仏塔の屋根の上に立つ飾り物のことで、花が数段重なるところが「九輪」に似ていることで名がつけました。

「黄華鬘(キケマン)」の「華鬘」とは、仏前を荘厳にするため仏殿や欄間にかける装飾品のことで、透かし彫りなどが施されています。「柏葉白熊(カシワバハグマ)」の「白熊」とは、僧侶が手に持つ払子(ほっす)に使われているヤクの尾の毛のことです。花の様子が似ていることで名がつけました。また「ツチアケビ」は別名「山錫杖(ヤマシヤクジョウ)」と呼びますが、「錫杖」とは、僧侶が使う「つえ」のようなもので、頭部に輪がついていて振ると音が出る仏具のことです。

普段、お寺に行くのはお墓参りとか観光の時くらいですが、お寺の建物とかお坊さんの持ち物などをよく観察するとチョット？納得です・・・(千葉)



ホウチャクソウ



キケマン

科学館情報

御礼申し上げます。

6月10日のイベント「カブト虫の飼育教室」に必要なカブト虫の幼虫を、地域の方々に提供して頂きたいという願いを4月号にて掲載しました。おかげさまで、地域の方々からの提供もあり、無事、参加された皆様に幼虫を配布することができました。仙台方面からの参加者が目立ちましたが、花山の自然を満喫されたようです。来年も、よろしくお願い申し上げます。